



人間系コロキウム

# 筑波大学 人間系コロキウム

## データの独立性の仮定と 調査・実験デザインの設計

### 第14回

講師: 宇佐美 慧

筑波大学人間系心理学域 准教授

統計的手法は教育学・心理学を含めた様々な分野の量的研究における縁の下での力持ちである。伝統的な統計モデルでは、各データが互いに独立に得られる、例えばある人のデータが分かっても他の人のものについてはわからないことを仮定している。ところが、同じ教育環境を共有する同じ学校の生徒間のデータなど、しばしばこのような仮定が不適当な状況がある。

本発表では、データの独立性が満たされないときに、統計的分析上どのような問題が生じるのかについて、極力、予備知識がなくても理解できるように解説する。特に、データ数と適切な調査・実験デザインの設計の関係に力点を置き、また実験デザインの設計に関する最新の話も紹介する。

2014年

11月26日(水)  
16:00~18:30

人間系学系棟  
B532

共催

人間学類35周年記念事業

お問い合わせ

人間系研究戦略委員会  
(コロキウム運営担当)

✉ research@human.tsukuba.ac.jp

Education  
Psychology  
Disability Sciences